

## 北海道現代史 産業・経済部会の日程について

(R2. 7. 6 坂下部会長メールより抜粋)

### 1. 2020年8月末部会まで 第一関門 見通しをつける

(1週間前に事務局に提出してください)

①各自の分担分について節立てを行い、想定される資料名を並べる。資料編のもくじに相当するもの。

② ①であげた資料の中から、10点ほどサンプルを準備する。

→編纂室ではすでに「筆耕」（資料をワードに起こす作業）を開始していますが、部会資料として原資料を提出してください。

③各自の配分スペースの調整を行いますので、割当分量の多寡の判断をお願いします。再配分します。

### 2. 2020年9月から12月末まで 第二関門 資料のめど

追加の資料調査を行ってください。収集資料を整理し、筆耕に回してください。

掲載割当の2倍くらいまでの資料蒐集を終える。年末に実績報告をお願いします（第二関門）

### 3. 2021年1月から3月まで 第三関門 資料の絞り込み

最終補足的な資料調査は可能です。

3月末までに割当分量までの資料の絞り込みを行い、メモの作成あるいは解説文の作成を行ってください。

### 4. 2020年5月末 資料確定

最終資料の確定、当然目次の確定

\*道庁の場合の経費見積もりは「水も漏らさぬ」という固いものです。

以降変更不可となります。ゲラが出てから考えるということは無理です。

### 5. 2020年9月末 解説文確定

解説文の完成と全体調整

### 6. 協議事項

建設業の分担（経営史として）が確定していないので、8月末の部会で協議したいと思います。下調べは編纂室で実施。一人ではなく、集団体制でと思っております。

### 7. その他

5月14日に事務局から筆耕作業のため掲載候補資料の選別を依頼するメールが届いておりますが、上記の日程にかかわらず、随時、送り込むようにしてください。